

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 高橋ひなた
所属 (School) 現代システム科学域マネジメント学類
学年 (Grade) 1
留学先 (Name of overseas institution) マラヤ大学
留学期間 (study abroad period) 2019/2/24~2019/3/16

留学レポート Study Abroad Report

◆ 概論

マレーシアはクアラルンプールでの3週間について報告します。本プログラム SUMMER ENRICHMENT PROGRAM (SEP) はマレーシア NO.1 国立大学マラヤ大学で行われます。今年は岡山大学、静岡大学、関西学院大学、福井大学、大阪府立大学の5大学、総勢55名が参加していました。SEP は語学研修とアクティビティ、ホームステイ、観光の要素を含んでいます。フリーな日は一日もありません。けれどその分密に活動計画を練ってくれていて、充実した日々が送れることは間違いありません！

◆ バディ制度

本プログラムで特出すべきはなんといってもバディ制度です。マラヤ大学の学生が日本人3人に対して1人充てられて、一緒にシェアルームをします。同年代の違う国籍の人たちと交流できる機会は私にとってとても有意義でした。彼らはこのプログラムに参加するため大学から選ばれた人たちです。国のトップ大学の中からさらに選出された人たちの大志や考えが聞けるし、大きく感銘を受けると思います。また彼らの恋愛観など日本では聞けない話も多かったです。彼らは放課後夕食に連れて行ってくれたり、マレーシアの文化について教えてくれたりします。恥ずかしながら、日本に帰国するときは彼らとの別れに大泣きしました。そのくらい、形式上だけじゃなくて本当に友人になれます。



◆ 英語学習

平日の午前中は英語学習の授業がありました。文法、スピーキング、リーディング、ライティングの4つに分類されていて、各授業違う先生が教えてくれます。日本のようにずっと座って先生の話聞く、といった授業形態ではなくグループワーク中心の参加型の授業でした。ゲームも多く取り入れられていて眠くなることもありません。先生はバディと比べて英語のなまりが少なく、聞き取りやすかった印象があります。また、私の拙い英語も単語単語を拾って内容を理解してくれたり、言葉に詰まっても話が終わるまで待ってくれたり臆さず英語を話せる環境だと思います。こういった環境のおかげで自分の英語が伝わっている、という感触を実感できました。先生は年が近く大変フレンドリーです。自分が積極的に話しかけることで質の高い英会話の授業が受けられます。

◆ アクティビティ

平日は午前の授業が終わった後、毎日アクティビティの時間があります。アクティビティではマレーシアの伝統音楽もしくはダンスや、地元の学生に披露するための劇の練習を行います。また、クッキングやデザートなどのイベントも開催されます。どれも日本では経験できない活動ばかりだったと思います。特に人前で英語でディベートをするディベーターに選ばれたのですが、その時は英語が話せるだけでなく使えなければいけない、と改めて実感できた貴重な時間でした。

◆ 文化

マレーシアは多民族国家でその多くはマレー系でイスラム教を信仰しています。ほかにも中華系、インド系などによって構成されているため多くの異文化に触れられます。授業でもマレーシアの文化について学習できます。マレー系のバデイはポークが食べられないのでマレー系の夕食、中華系は中華料理など、バデイによっていろいろと面白いところだと思います。私のバデイはマレー系だったので、ナシゴレンをはじめとするマレー料理をよく食べました。どれもおいしかったし値段も300円ほどでやすいものが多かったです。日本食より辛いものが多いですが、バデイが選別してくれるので自分の好みの辛さを選ぶことができました



◆ 最後に

マレーシアで過ごした3週間は密でどのタイミングを切り取っても大変有意義な時間でした。マレーシアはまだ発展途上国ですが近年急成長している国の一つです。そのため町全体から活気やパワーを感じられました。その国でトップを走る大学生と、志の高い日本人の大学生に混ざって今回のプログラムに参加できたことを幸運に思います。彼らは今でも自分を鼓舞してくれる、尊敬できる存在となっています。このプログラムだけで英語が飛躍的に話せるようになることはないかもしれませんが、怖気づくことなく英語を話す度胸は確実についたと思います。

最後になりますが、こんなに素晴らしいプログラムを手配してくださった方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。

